

やすらぎ通信

第 82 号（平成 29 年 9 月 1 日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

長月(ながつき)



(大阪市東住吉区・大阪市立長居植物園のナadeshiko)

<目次>

季節を愛でる	・・・P. 1
今月・来月の催し	・・・P. 2
管理栄養士のコーナー	・・・P. 7
今月のきらりさん	・・・P. 8
NEWS	・・・P. 9

掲示板	・・・P. 10
地域の医療機関の皆様へ	・・・P. 12
今月の風景	・・・P. 13
編集後記	・・・P. 14

子どもの頃より、お月見団子のあの形がずっと気になっていました。雫形のお団子にあんこがのせてあるあの形です。絵本などに出てくるものは、丸い形をしています。なぜ？調べてみますと、関西特有の形であるようです。十五夜の頃は、ちょうど里芋の収穫期でもあります。そのため十五夜は「芋名月」とも言われ、ススキなどと共に里芋を月に供える習慣があるのだそうです。里芋の子芋を皮のまま茹でたものを「衣被（きぬかつぎ）」と言いますが、関西のお月見団子の形は、この衣被を表しているのだそうです。あの形は里芋の形で、あんこは芋の皮だったのです。京都では、月にかかる雲を表しているとも言われています。

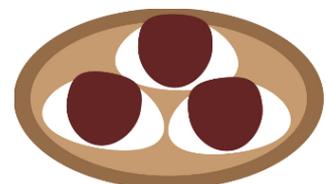
十五夜（中秋の名月）とは、旧暦の8月15日の月を言います。新暦では、今年は、10月4日が十五夜にあたるようですが、9月に入ると、暑さも和らぎ、澄んだ夜空のもと、月が綺麗に見えるようになります。9月6日は満月です。だんだんと月の軌道も見上げるのに丁度よい高さとなってきます。皆さまもお月見を愉しまれてはいかがでしょうか。

旧暦が使われていた頃、人々は満ち欠けする月に名前を付けていました。二日目の細い月は織月（せんげつ）、三日目の月は眉月（まゆづき）、満月を望月（もちづき）、満月の翌日の月を十六夜（いざよい）、夕刻に今かとばかりに立って待つ立待月（たちまちづき）、座って待つうちにでてくる居待月（いまちづき）、ひと寝入りして待つ寝待月（ねまちづき）、夜も更けてから上がってくる更待月（ふけまちづき）という具合です。江戸時代には、特定の日特定の形の月を待つ風習があったそうです。月の出は満月を過ぎると毎日約50分ずつ遅くなるので、多くの表現が必要になったのでしょう。これらの異名からは、月の出を待ちわびる人々の気持ちが伝わってきます。月が完全に欠けた朔（さく）の夜は、星月夜（ほしづきよ）と呼ばれていました。無数の星が輝いて月の代わりにしてくれる様子を表しています。民間人が月旅行に出かける日も遠くないと言われる時代にあっても、月に憧れ、月を愛でる心は変わらず受け継いでいきたいものです。

そしていよいよ収穫の秋、食欲の秋です。キノコや根菜、木の実、果物も豊富です。今年も栄養管理室では、秋の行事食を準備しています。メニューはナイショですが、デザートにはおはぎが出てくるようですので、楽しみになさってください。

さて、今月ご紹介する俳句は、正岡子規のあまりにも有名な句です。明治28年（1895年）秋に奈良の法隆寺を訪れた際に詠んだと言われています。子規は、果物の中でも特に柿が好物であったようで、1日に7、8個食べることもあったそうです。茶屋で出された大好きな柿と目の前に広がる美しい景色に旅の疲れも吹き飛び、癒されたことでしょう。

秋の到来とともに思い出すことわざがあります。「桃栗三年、柿八年」や、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」です。秋は、作物の実りと共に、努力や忍耐、謙虚な姿勢の大切さを教えてくれる大切な季節であったのですね。



今月・来月の催し

【第25回病院ギャラリー企画展 『日本の風景写真展』】

開催期間 9月18日(月)～12月15日(金)

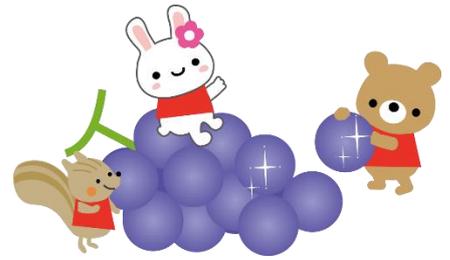
展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 写真:26作品(予定)

9月20日(水)午後1時30分から学芸員による作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催(参加費無料)しますので、ご参加ください。

なお、第24回病院ギャラリー企画展『田中 一光 ポスター展』は9月15日(金)までとなっています。

本企画展は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施しています。



【平成29年度第3回 腎臓・高血圧教室】

日時 9月6日(水) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

内容 腎臓病と高血圧 ～日常生活での心がけ～

腎臓・高血圧内科診療主任 飯尾 麗

考えましょう!毎日の塩分のこと 管理栄養士 隈元 理香

参加費 無料

【第49回 万代・夢寄席「桂かい枝 秋の落語独演会」】

日時 9月8日(金) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 桂 かい枝氏

入場料 無料

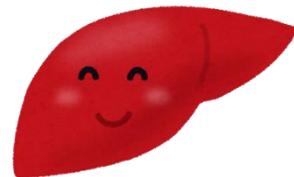
【すこやかセミナー「肝がんの診断と治療」】

日時 9月14日(木) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

講師 消化器内科主任部長 薬師神 崇行

参加費 無料



【府民公開講座「動脈硬化から始まる心臓・大血管の病気」】

日時 9月16日(土) 午後1時30分～3時(午後1時開場)

場所 本館3階 講堂

講師 心臓血管外科主任部長 白川 幸俊

参加費 無料



【森ノ宮医療大学連携 平成29年度第2回 市民公開講座「子宮がん・卵巣がん」】

日時 9月17日(日) 午後1時30分～3時30分(受付 午後1時～)
場所 森ノ宮医療大学(地下鉄中央線コスモスクエア駅下車②番出口)
内容 子宮がん・卵巣がん—診断と治療～最近の進歩～
産婦人科主任部長 竹村 昌彦
婦人科疾患と看護
森ノ宮医療大学 看護学科 教授 橋本 富子 氏
がんのリハビリテーション
森ノ宮医療大学 理学療法学科 教授 河村 廣幸 氏
がんの診断と検査
森ノ宮医療大学 臨床検査学科 助教 小林 彩香 氏
参加費 無料
定員 先着100名 申込不要

【相愛大学連携 第73回 外来糖尿病教室

知って得する!糖尿病との付き合い方】

日時 9月20日(水) 午後2時～3時
場所 本館1階 アトリウム
内容 糖質制限って実際どうなの? そこんどこ、教えます。
糖尿病内分泌内科医師 藤川 慧
あなたの足は大丈夫? フットケアについて
糖尿病看護認定看護師 後藤 博美
にく!! 相愛大学准教授 竹山 育子 氏
参加費 無料

【すこやかセミナー「腰痛のリハビリテーション ～予防と改善の基本～」】

日時 9月22日(金) 午前11時～12時
場所 本館3階 講堂
講師 理学療法士 山田 保隆
参加費 無料



【すこやかセミナー「心房細動ってどんな病気? ～診断と治療～」】

日時 10月12日(木) 午後2時～3時
場所 本館3階 講堂
講師 心臓内科診療主任 川崎 真佐登
参加費 無料



【相愛大学連携 第74回 外来糖尿病教室】

【知って得する！糖尿病との付き合い方】

日時 10月18日（水） 午後2時～3時
場所 本館1階 アトリウム
内容 当センターの糖尿病透析予防外来について
糖尿病内分泌内科主任部長 馬屋原 豊
糖尿病の飲み薬について 薬剤師 石川 佳澄
食欲の秋 管理栄養士 隈元 理香
参加費 無料

【第56回相愛大学連携コンサート】

日時 10月19日（木） 午後2時～3時
場所 本館3階 講堂
出演 未定
入場料 無料

【すこやかセミナー「歯周病を予防して健康力アップ！」】

日時 10月27日（金） 午前11時～12時
場所 本館3階 講堂
講師 障がい者歯科副部長 久木 富美子
参加費 無料



【森ノ宮医療大学連携 平成29年度第3回 市民公開講座「高齢者の耳鼻科疾患」】

日時 10月29日（日） 午後1時30分～3時30分（受付 午後1時～）
場所 森ノ宮医療大学（地下鉄中央線コスモスクエア駅下車②番出口）
内容 高齢者の耳鼻科疾患～最近の進歩～
耳鼻咽喉・頭頸部外科主任部長 宇野 敦彦
耳鼻科疾患と看護
森ノ宮医療大学 看護学科 教授 伊津美 孝子 氏
耳鼻科疾患と鍼灸療法
森ノ宮医療大学 鍼灸学科 教授 仲西 宏元 氏
耳鼻科疾患と作業療法
森ノ宮医療大学 作業療法学科 教授 小林 貴代 氏
参加費 無料
定員 先着100名 申込不要



【作品展（コスモス会）の開催と作品の募集について】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を10月30日から11月1日の間、本館3階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

- 応募資格 患者さんとその家族及び病院関係者
 応募方法 出展ご希望の方は、当センター総務・人事グループへお問い合わせください。(連絡先：06-6692-1201 内線 2313)
 応募作品例 絵画、写真、書道、手芸ほか
 作品受付日 10月30日（月）午前9時～10時
 作品返却日 11月1日（水）午後4時～5時

《平成29年度下半期 すこやかセミナー》

すこやかセミナーは府民の皆様を対象としたセミナーです。当センター医師や医療従事者が講師となって、医療や健康にまつわる役立つ情報をお届けしています。



日程、場所	時間	テーマ	所属	演者
10月12日(木) 講堂	午後2時 ～3時	心房細動ってどんな病気？ ～診断と治療～	心臓内科 診療主任	川崎 真佐登
10月27日(金) 講堂	午前11時 ～12時	歯周病を予防して健康力アップ！	障がい者歯科 副部長	久木 富美子
11月9日(木) 講堂	午後2時 ～3時	放射線治療の今とこれから	放射線治療科 医師	玉木 伸幸
11月24日(金) 講堂	午前11時 ～12時	肺がんの外科治療～胸腔鏡手術～	呼吸器外科 主任部長	船越 康信
12月14日(木) 講堂	午後2時 ～3時	麻酔のはなし ～ちょっと聞きたかったこと～	麻酔科 部長	稲森 紀子
1月26日(金) 講堂	午前11時 ～12時	お年寄りに多い眼の疾患	形成外科 主任部長	福田 健児
2月8日(木) 保健教室	午後2時 ～3時	【未定】	看護部	
2月23日(金) 講堂	午後2時 ～3時	大腸がんについて ～検診・診断・治療などいろいろな話～	消化器外科 副部長	小森 孝通
3月8日(木) 講堂	午後2時 ～3時	身体疾患と精神症状	精神科 副部長	陸 馨仙
3月23日(金) 講堂	午前11時 ～12時	【未定】	看護部	

《平成29年度下半期 相愛大学連携 外来糖尿病教室》

外来糖尿病教室は当センターと相愛大学が連携して開催している、府民の皆様を対象としたセミナーです。糖尿病の治療に関する知識、薬や食事の注意点など、糖尿病に関する最新情報をお伝えしています。



時間：午後2時～3時

場所：本館1階アトリウム

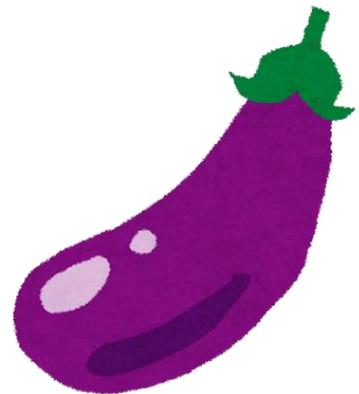
日程	テーマ	所属	演者
10月18日(水)	当センターの糖尿病透析予防外来について	糖尿病内分泌内科 主任部長	馬屋原 豊
	糖尿病の飲み薬について	薬剤師	石川 佳澄
	食欲の秋	管理栄養士	隈元 理香
11月25日(土)	第8回 糖尿病予防セミナー 第4回 糖尿病フェスタ		
12月19日(火)	～医者は「〇〇してほしい」と思っています～	糖尿病内分泌内科 副部長	藤木 典隆
	検尿のおはなし	臨床検査技師	谷 恵理子
	年末年始の乗り越え方	管理栄養士	笠井 香織
1月16日(火)	糖尿病治療その1、SGLT2阻害剤について	糖尿病内分泌内科 医師	清水 彩洋子
	運動療法について	理学療法士	長島 健太郎
	ちょっと待って、その一口	管理栄養士	隈元 理香
2月21日(水)	インスリン治療薬 ～インスリンのポイントまとめました～	糖尿病内分泌内科 医師	畑 雅久
	シックデイに気を付けること	糖尿病看護認定看護師	後藤 博美
	和食	相愛大学 准教授	竹山 育子氏
3月14日(水)	やせる注射?! GLP1受容体作動薬のすべて	糖尿病内分泌内科 医師	藤川 慧
	インスリンについて	薬剤師	梅原 聡子
	減塩のすすめ	管理栄養士	笠井 香織

管理栄養士のコーナー

～ちょっとおいしい話～

まだまだ暑い日が多いですが、朝晩に少し秋の気配を感じる日も増えてきました。茄子の旬は夏ですが、今の時期の茄子は日中と朝晩の気温差で身が締まり、さらにおいしくなります。うまみが凝縮された秋茄子を食べて、残暑を乗り切りましょう！今回は、茄子と豚ミンチの炒め物をご紹介します。手軽にできるので、是非お試しください。

《材料》		(2人分)	
茄子	2	本	
豚ミンチ	100	g	
油	少々		
生姜	少々		
★ { 味噌	小さじ2	杯	
砂糖	小さじ1	杯	
みりん	小さじ2	杯	



(1人分) エネルギー：200kcal たんぱく質：10.7g 脂質 11.6g 食塩相当量：0.8g

- ① 茄子は食べやすい大きさに切り、しんなりするまでレンジにかける。
- ② 生姜はすりおろしておく。
- ③ フライパンに油を入れて豚ミンチを炒め、火が通ってきたら生姜・茄子を加えてさらに炒める。
- ④ ★を入れて全体になじんだらできあがり。

茄子は油をよく吸収するので、油を使用した調理方法だと意外と高エネルギーになりがちです。今回はレンジを使用し、油の使用量を控えたので、ヘルシーに仕上がります。

管理栄養士 森本 都

今月のきらりさん

自分の持ち味を生かした看護、すなわち“きらりと光る看護”を行っている当センターの看護師を紹介させていただくコーナーです。

8階東病棟 菊川千鶴看護師長

8階東病棟について、ご紹介させていただきます。

8階東病棟は、神経内科、脳神経外科の混合病棟です。病棟の中に脳卒中集中治療室（SCU）が6床あり、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血の急性期の患者さんに、治療とケアと並行して早期から積極的にリハビリに取り組んでいます。また、当センターは大阪府の難病医療拠点病院で、筋萎縮性側索硬化症（ALS）やパーキンソン病、その他神経難病の患者さんが入院されます。

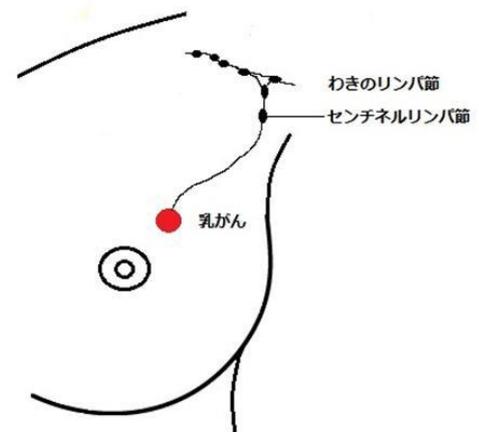
神経難病や脳血管疾患の患者さんはさまざまな機能障害を抱えていることから、日常生活動作への援助と患者さん・ご家族を含めた精神的サポートも必要となってきます。一人一人の患者さんと向き合い、『患者さん自身で出来ることは何か？』『どこに援助が必要なのか？』をともに考え、援助を行っています。病棟の浴室には患者さんが横になったまま入ることが出来るクランクバスがあり、人工呼吸器が付いている患者さんやベッドから起き上がることが出来ない患者さんもシャワー浴を行うことが出来ます。医師とも協力し、出来るだけすべての患者さんにシャワー浴が行えるようにしています。患者さんはとても気持ちよさそうな笑顔になります。

今後の生活については、リハビリのセラピスト、薬剤師、ソーシャルワーカーなど他職種と協力し、安心して生活できるよう計画的に支援を行っています。退院前にはケアカンファレンスを行い、情報を共有し、継続して看護・介護が行えるように地域との連携を大切にしています。そのため、若手看護師も退院支援・退院調整を実践するために積極的に学び、先輩看護師とともに患者さんの思いを実現するために日々頑張っています。



【造影 CT と造影 MRI を用いたリンパ節転移診断によるわきの手術の回避】

乳がんの手術として、わきのリンパ節全摘手術（郭清）がかつて広く行われていましたが、術後腕のむくみや神経障害などの後遺症に悩まされることもまれではありませんでした。そこで、治療成績は同じで最小限のリンパ節を切除する手術が考案され、標準的に行われるようになりました。「センチネルリンパ節」は乳がんが最初に転移するわきの第一リンパ節で、これを摘出し、調べて転移がなければ他の第二、第三のリンパ節には転移はないので郭清を回避できます。この第一リンパ節のみを切除する手術がセンチネルリンパ節生検です。しかしながら、体に負担の少ない手術とはいえ、わきにメスを入れることとなりますので手術の後に傷の痛み、しびれ、腕のむくみなどを生じることがあります。そこで、もし手術の前に画像診断でセンチネルリンパ節に転移がないと診断できれば、センチネルリンパ節生検の手術も不要のものとなり、これによる後遺症も生じません。



私たちはこれまで造影 CT で画像上センチネルリンパ節を特定し、これについて造影 MRI で転移診断が可能かどうか検討を重ねてきましたが、その結果、正確な診断が行えることが明らかになりました。そこで、この方法を用いて手術の前に転移診断を行い、転移がないと診断された患者さんにわきの手術（センチネルリンパ節生検）を回避する治療法を開始しました。これまで全体の約7割の患者さんはセンチネルリンパ節に転移がないにもかかわらずセンチネルリンパ節生検が行われてきましたが、この方法で回避できます。

本治療法は現時点で標準治療ではありませんので、臨床試験という形で行っています。したがって本治療法を受けていただく際には、十分ご理解、ご同意をして頂いた上で行います。

お問い合わせは、乳腺外科までお願いいたします。

乳腺外科 主任部長 元村 和由

【電子タバコについても敷地内での喫煙を禁止します】

当センターでは、健康増進法の趣旨にしたがい、敷地内全面禁煙を実施しています。電子タバコ等の新しいタバコに関しましても従来のタバコと同様に敷地内全面禁煙とします。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/hospital/12.html>

掲示板

【公共交通機関ご利用のお願い】

大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称）の建設工事に伴い、南側平面駐車場を閉鎖し、中央館南側の立体駐車場及び北側駐車場をご利用いただいております。

駐車スペースが限られるため、入庫するまでに時間がかかる場合があります。

大変ご不便をおかけいたしますが、来院の際には余裕をもってお越しいただくか、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/access.html>

【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、採血室受付や図書コーナー、入院時の病棟への案内、看護学生のボランティアやクリニック라운の訪問を受け入れるとともに、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポートを実施しています。また、看護学生や保育学生が話し相手や遊び相手のボランティアをしています。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。また、ボランティアを随時募集していますので、お問い合わせください。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9 診療科において

診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいますようお願いいたします。

電話番号 06-6692-1201 (代表) にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

受付時間 午後3時～午後5時(平日のみ)

対象診療科 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科 神経内科
脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の

概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、入退院センターにおきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、医療・福祉相談コーナーなどでCT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。

なお、一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式 Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右のQRコードをご利用ください。



【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

地域の医療機関の皆様へ

【消化器内科の診療のご案内】

当センターは「地域がん診療連携拠点病院」であり、消化器内科では食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆道がん、膵がんといった広範囲の臓器のがんを対象として、早期のものから進行したものまで診断ならびに治療を行っています。消化器がん診療において内視鏡技術は要であり、当科では年間約 6,000 件の上部消化管内視鏡検査、約 3,000 件の下部消化管内視鏡検査、そして、500 件を超える内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を行い、また、200 件を超える内視鏡的粘膜下層剥離術を行っております。



2018 年度に、大阪府市共同住吉母子医療センター（仮称）が開設します。それに伴い、消化器内視鏡センターは新棟の 2 階に移転します。

新棟移転後は、消化器内視鏡検査室は一部屋の面積は変わることなく、4 ブースから 8 ブースへと増室されます。また、呼吸器内科仕様で結核患者の病態にも応じるための陰圧装置を設置した透視室を含め、透視室は 2 室新設されます。内視鏡装置も一新されて天井からの吊り下げ式タイプとなり、床にコード類を這わせることがないため、検査はより安全かつより清潔になります。

2018 年 4 月、当診療科の内視鏡はさらに多くの患者さんに対応することが可能となります。地域がん診療連携拠点病院の診療科として、また、救急医療を担う診療科として、よりいっそう地域のニーズにお応えします。

なお、救急医療に関しては、上級医・後期研修医・初期研修医よりなるチームでオンコール体制を取っており、消化管出血、閉塞性胆道感染症、腸閉塞、消化管異物などに対して、24 時間 365 日の迅速対応をしております。



今後も引き続き地域医療に貢献していきたいと存じますので、これまで以上のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

消化器内科 主任部長 薬師神 崇行

今月の風景



【コメント】

「千と千尋の神隠し」に登場する湯婆婆の湯屋を彷彿させるとして話題の場所で、提灯が灯るノスタルジックな風景はどこか懐かしい雰囲気が漂う町並みでした。

(K・U 氏撮影「台湾の九份 (きゅうふん)」(撮影地：台湾))

編集後記

今月の表紙は、秋の七草の一つのナデシコです。春の七草は、長い冬の終わりに新芽の滋養を食し、無病息災を祈願するものですが、秋の七草は、冬に向かう前に咲き誇る花の美しさを愛でるものです。秋の七草を鑑賞して、秋の訪れを感じるのは趣があっていいですね。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。